

総合睡眠医療センターを

目指して

岐阜市 田中春仁

【ご挨拶】

岐阜大学卒業後、大学病院、下呂温泉病院、大阪府立羽曳野病院（現呼吸器・アレルギーセンター）、岐阜市民病院を経て、岐阜赤十字病院呼吸器内科部長として十四年間勤務し、その間、呼吸器・アレルギー・睡眠医療

に携わってまいりました。数々の臨床経験の結論として、予防・回復医学として睡眠医療の重要性に気づき、その専門性を追求し、実践の場として、また

受診者の利便性を考えたシステムを企画した結果が、当院（G M S C）です。睡眠障害を科学的手法にて評価、治療すること

をコンセプトとしています。睡眠医療センターが米国では約一千二百、ドイツでは約百力所開設され、社会に睡眠医療が認知

されているのに対し、日本では大都市（東京、名古屋、大阪）に数施設しかありません。

【業務内容】
睡眠をキーワードに①睡眠覚醒関連疾患診療、乳幼児から成人までの睡眠関連呼吸障害（睡眠時無呼吸症候群）、不眠症、過眠症（ナルコレプシー・特発性過眠症）、概日リズム性睡眠障害（睡眠相後退症候群）、睡眠時随伴症（R E M睡眠行動障害）、睡眠関連運動障害（むずむず脚・



外来診察三室、C P A P センター、セファログラム、中央管理室（終夜監視、解析室約三十三畳）、睡眠検査室十六部屋（日本最多、小児対応三部屋、M S L T & M W T 対応三部屋）、高照度光治療室一部屋（東海初）、終夜睡眠ポリグラフ検査 P S G（火、金、土曜日施行可能）
運営の中心は、トレーニングされた睡眠専門技師（S T : s i c a p t e c h n o l o g i s t）、日本睡眠学会認定、米国認定 R P G S T）です。また将来的には本部である「豊橋メイツ睡眠障害治療クリニック（T M S C）」や名古屋から睡眠専門の神経内科医、精神科、耳鼻科医の参加を予定しています。開設以来三カ月で約五百人の新患受診（千葉・静岡・三重・滋賀・京都を含む）があり、P S G は月百人ペースで対応しています。電話での完全予約制です。詳しくは H P を参照してください。



岐阜市・岐阜メイツ睡眠障害治療クリニック

TEL 〇五八二七二一九三〇〇

URL <http://www.mates.or.jp/suimin-g/index.html>